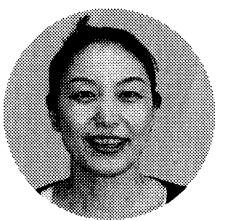


# 異文化との面のせ

## つくば通信

(34) 村田 佳子



先日、桜の開花予想が誤っていたというニュースがありました。桜の開花時期によって商業的にさまざまな影響がでる日本。花見や歓迎会など行事を予定されている方も多くでしょう。この時期、題名や歌詞に桜が登場する曲が多く流れています。ある特定の花がいつ咲くか、が国民的な関心事となるのは世界的にも珍しいことでしょう。

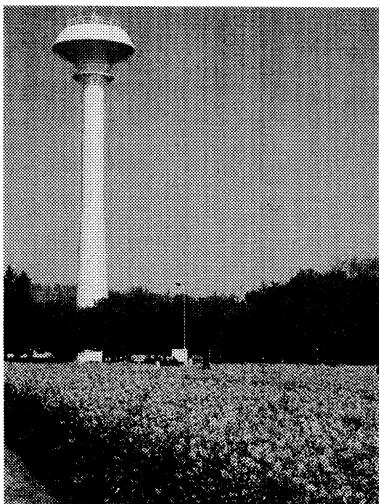
雨季と乾季だけ、あるいは常夏の国など、冬といふ季節を経験したことのない研修生が極寒の2月に来日すると、「この寒いはいつまで続くのか」と質問してくれることがあります。そもそも春と言う季節がきて…と説明しながら春をどう表現していいか分からず、思わずピンクの彩の思い描き、ち遠しく愛おしいものな

のかもしません。花に関連して私も異なる文化で驚いたことがあります。入院したとき、夕方に病室を訪ねた私は、一瞬ギョッととして同席していた担当の看護師さんと顔を見合わせてしまいました。患者だった研修生のクラスメートが私より先に見舞いに来ていたのですが、道の途中のお店で花屋へいったからと仏壇に備える造花を購入し飾っていました。そしてその研究所の敷地内には

「短く咲いて潔く散るからこそ美しい」という日本人の心情、桜の風情は一瞬の景色を切り取っただけではなかなか感じとつてもうのは難しいようですが、そして桜は夏や秋ではなくて寒い冬の後、春に咲くからこそ味わいがあります。そもそも春と言ったので、彼らの国では日本で仏壇に供えるような花がお祝い用として使われたこと話しました。カラーでお伝えください。

さして、今年ももうすぐ桜が咲きます。写真は昨年4月上旬に撮影したものです。上がつくば市の観音台(つくば市立行政法人農業・食品産業研究機構のある通り)にある独立行政法人農業・食品安全委員会の桜」。そして下の菜の花はその通りにある「リサーチギャラリー」のもの。研究機関なのでお店で送りました。ちょうど桜を懐かしく思い、色鮮やかな写真の大変感激して送りました。ちょうど桜を懐かしく思ひ、色鮮やかな写真で大変感激していました。いつも返事をもらいました。やっぱり、日本を離れている日本人へのこの季節の通りの両側に約50本咲くのです。そして0本咲くのです。そしてたのです。

何も書かなくても桜は春を伝え、励ます気持ちは優しくも代弁してくれます。いつもな気がします。例年4月の初めの週末に花が桜とコラボレーションします。カラーでお伝えください。



ところ変われば用途は変わるものだと知りました。きっと日本でおめでたいところでもどこかの文化では受け入れ難いものである可能性があります。異文化とは興味深いものです。

えきのないのが残念です。

職場からは車で5分ほどなので、昼休みに連れていってもらつて初めて観たときは息が止まりそ

うなくらい感激しました。それから毎年、誰もいないこの通りの写真を撮りヨツとして同席していた担当の看護師さんと顔を見合わせてしまいました。患者だった研修生のクラスメートが私より先に見舞いに来ていたのですが、道の途中のお店で花屋へいったからと仏壇に備える造花を購入し飾っていました。そしてその研究所の敷地内には

「職と農の科学館」(つくば市立行政法人農業・食品産業研究機構)の施設があります。桜の季節、つくばエクスプレスに乗つて自然と科学の街つくばへ足を延ばしてみてほいかがでしょうか。(筑波国際センター・「